

# 現代創作衣裳人形

## 押絵・江戸羽子板

### 人形に想いを込める 人・愛・形

私は江戸時代に生まれた衣裳人形の伝統を生かして、世界の人々に着物の美しさ、顔の表情の見せ方、洗練された姿など、日本美術の魅力を伝えることが出来ればと思っています。

岩間緋幸創作人形工房  
岩間 幸子

事務局 岩間文雄（中小企業診断士）  
090-2637-1164  
2025.11更新



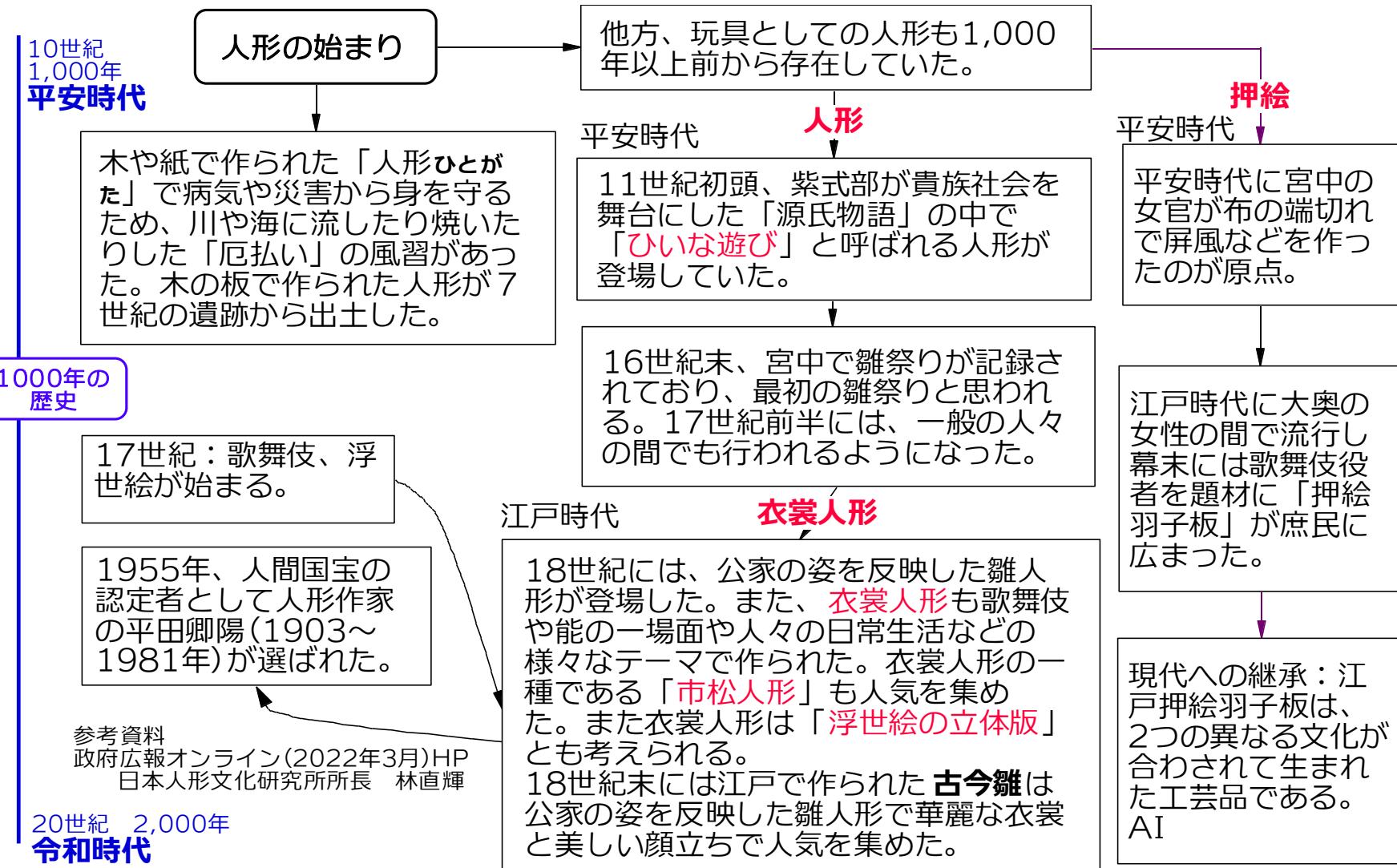
制作者  
カメラマン  
文責

岩間 幸子  
加藤 俊一  
岩間 文雄

# 目次

1. 人形1000年の歴史
2. 岩槻人形の歴史
3. 人形芸術について
4. 芸術鑑賞時に脳が働く主な部位
5. 岩間緋幸の創作衣裳人形
6. 美術展への出展
7. 創作衣裳人形・押絵・羽子板の一覧

# 1. 日本人形1000年の歴史



# 日本人形1000年の歴史(前ページの文章化)

木や紙で作られた「人形ひとがた」で病気や災害から身を守るために、川や海に流したり焼いたりした「厄払い」の風習があった。木の板で作られた人形が7世紀の遺跡から出土した。他方、玩具としての人形も1,000年以上前から存在していた。

平安時代(11世紀初頭)、紫式部が貴族社会を舞台にした「源氏物語」の中で「ひいな遊び」と呼ばれる人形が登場していた。  
また、押絵もこの時代の宮中の女官が布の端切れで屏風などを作ったのが原点。

16世紀末、宮中で雛祭りが記録されており、最初の雛祭りと思われる。  
17世紀前半には、一般の人々の間でも行われるようになった。  
17世紀は歌舞伎、浮世絵が始まる。

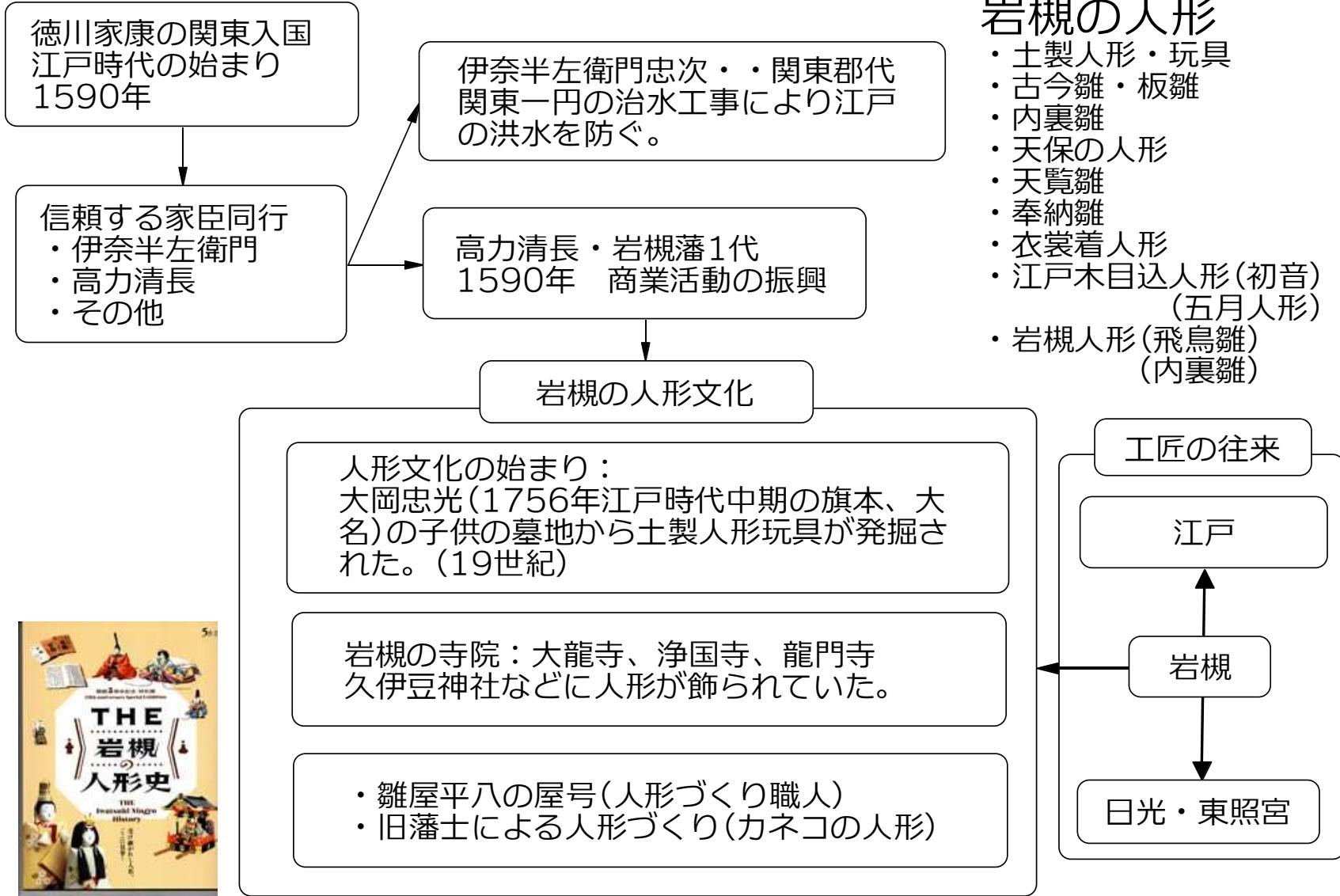
18世紀には、公家の姿を反映した雛人形が登場し、衣裳人形も歌舞伎や能の一場面や人々の日常生活などの様々なテーマで作られた。

衣裳人形の一種である「市松人形」も人気を集めた。また衣裳人形は「浮世絵の立体版」とも考えられる。

18世紀末には江戸で作られた古今雛は公家の姿を反映した雛人形で華麗な衣裳と美しい顔立ちで人気を集めた。

幕末には歌舞伎役者を題材に「押絵羽子板」が庶民に広まった。  
江戸押絵羽子板は、2つの異なる文化が合わされて生まれた工芸品である。  
1955年、人間国宝認定者として人形作家の平田卿陽(1903~1981年)が選ばれた。

# 2. 岩槻人形の歴史



# 岩槻・東玉人形の博物館

人形と共に170年、江戸時代に殿様に献上したところ、おほめの言葉とともに東國の人形づくりの王様を意味する「東王」の名前を賜わり、恐れ多いとして「東玉」とした。（「人形の東玉」パンフレットより）

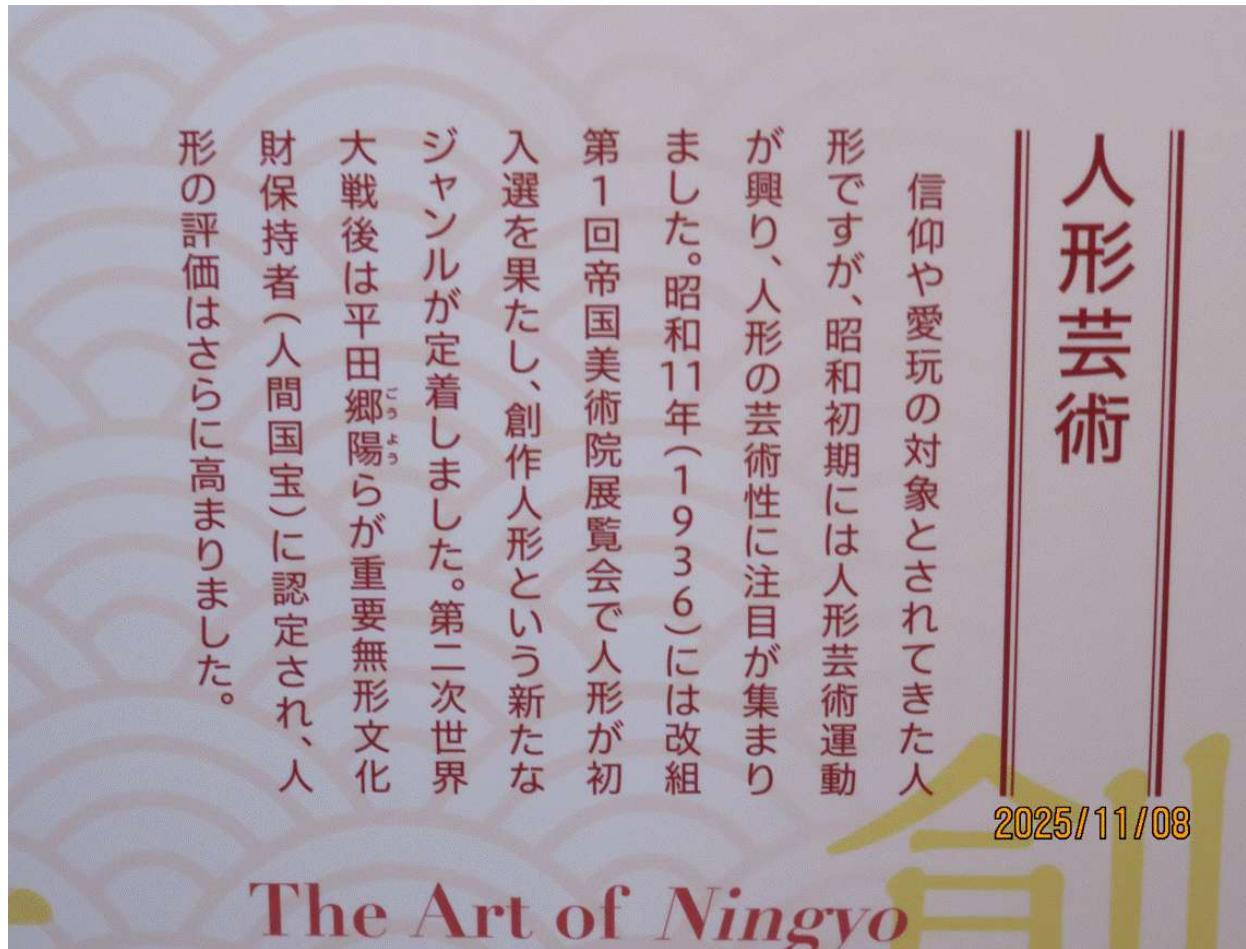
「人形は愛のかたち・・・」というメッセージが  
(人形博物館入口を入ったところに 2025.11訪問)



### 3. 人形藝術

岩槻人形博物館資料より

昭和11年、第1回帝国美術院展覧会で人形が初入選し、創作人形というジャンルが定着した。第二次世界大戦後は、平田郷陽らが重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定され、人形の評価が高まつた。



# 衣裳人形について

## 人間国宝・平田郷陽の人形「生人形から衣裳人形」まで

東京国立博物館 本館 14室 2024年7月17日（水）～2024年9月1日（日）

二代平田郷陽は、1955年、重要無形文化財「**衣裳人形**」保持者（人間国宝）に認定された創作人形作家です。

その父・初代平田郷陽は、日本の伝統的な製作技法を用いて極めて写実的に造形する「生人形」作りを職業とし、二代目郷陽自身もまた、生人形作家として作家人生を スタートしました。

しかし、人形もまた絵画や彫刻と同様に芸術としての価値があるという思いから、「**創作人形**」を志すようになります。

郷陽の創作人形は、**伝統的な「衣裳人形」の形態**を採用し、生人形制作で培われた確かな写実性に基づきながら、人々の生活や心情を情趣ゆたかに表現しています。

伝統的な衣裳人形からの脱却を試み、抽象的なフォルムを持つ木目込人形へと向かう姿勢には、時代とともに変化する芸術の動向に向き合う、郷陽の姿勢が垣間見えます。

（東京国立博物館 ホームページより）

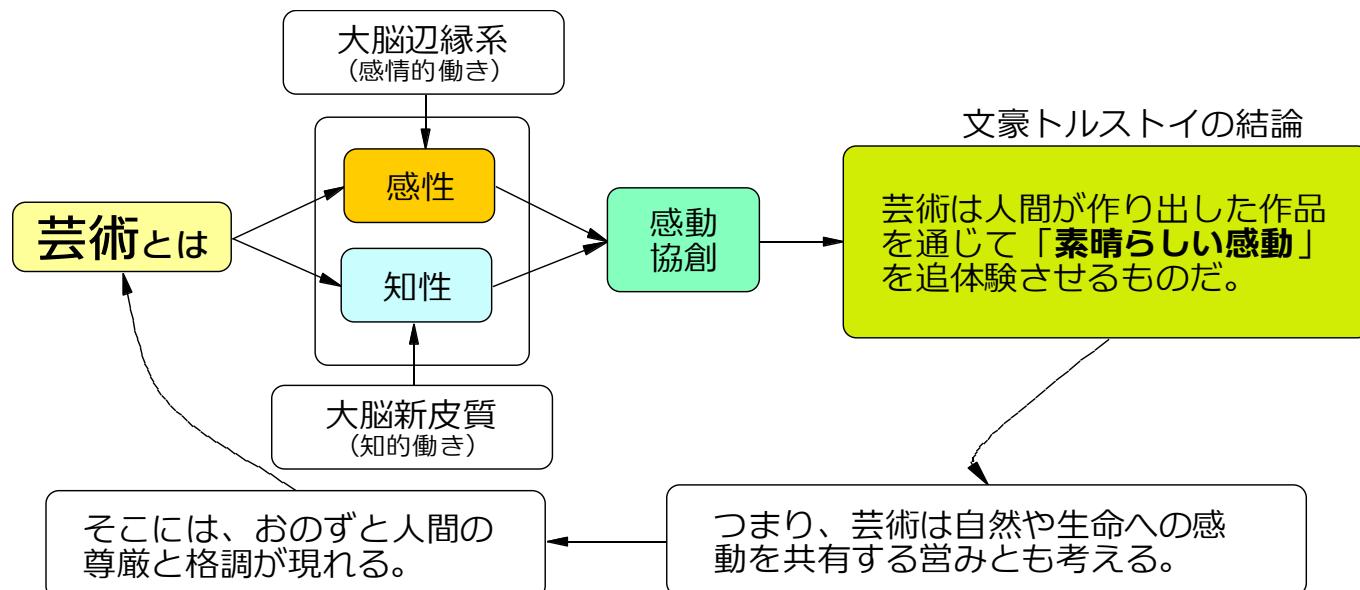
# 芸術とは 文化庁/脳科学的

## ◎文化庁の芸術文化についての説明

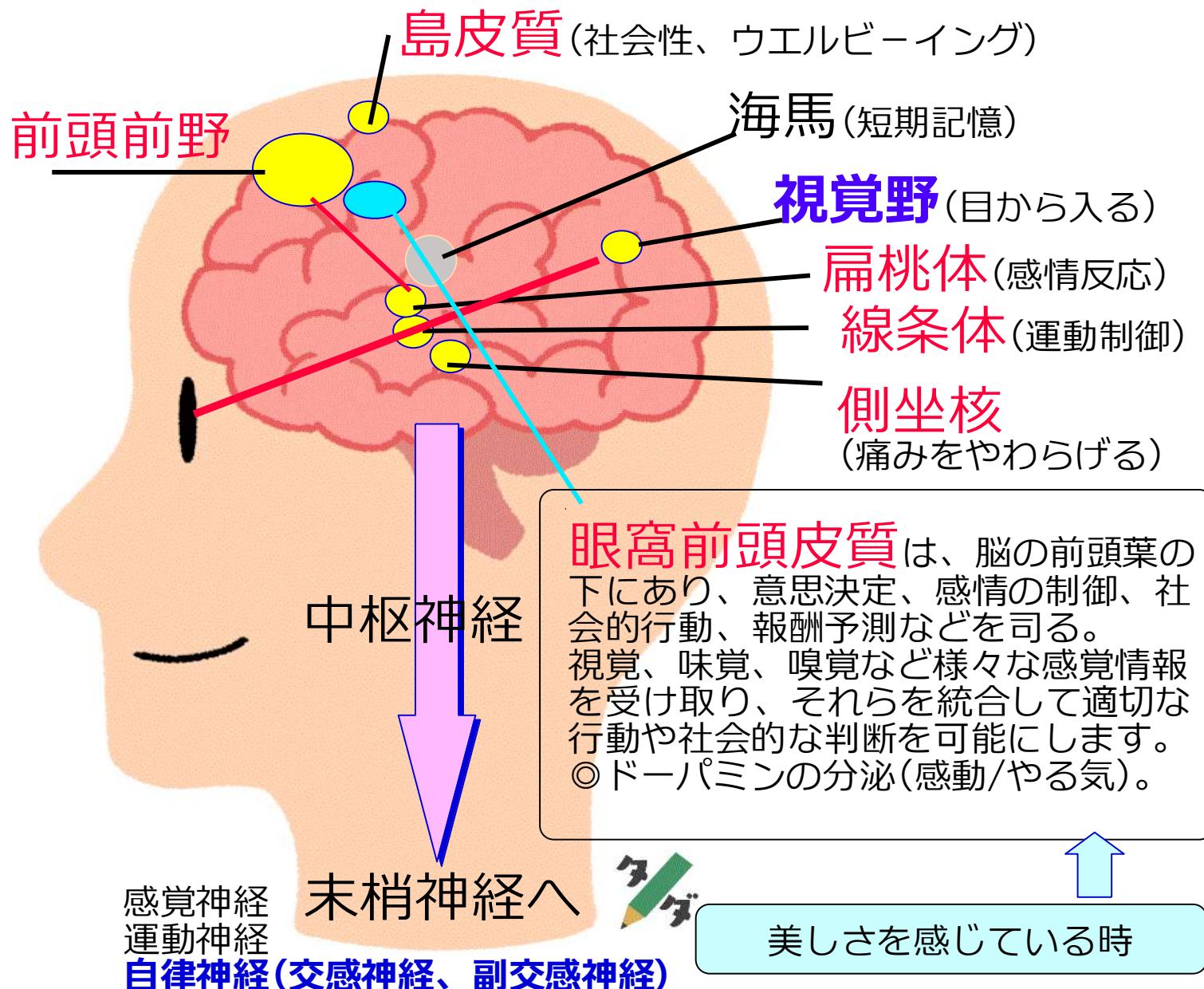
音楽、演劇、舞踊、映画、アニメーション、マンガ等の芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で大きな力となるものであり、その果たす役割は極めて重要です。

文化庁では、我が国の芸術文化を振興するため、音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術創造活動への支援、若手をはじめとする芸術家の育成、子供の文化芸術体験の充実、地域の芸術文化活動への支援、文化庁メディア芸術祭の開催をはじめとした映画やアニメーション、マンガ等のメディア芸術の振興等に取り組んでいます。

## ◎脳科学的：芸術とは感性と知性の協創により感動を人々に届けるもの

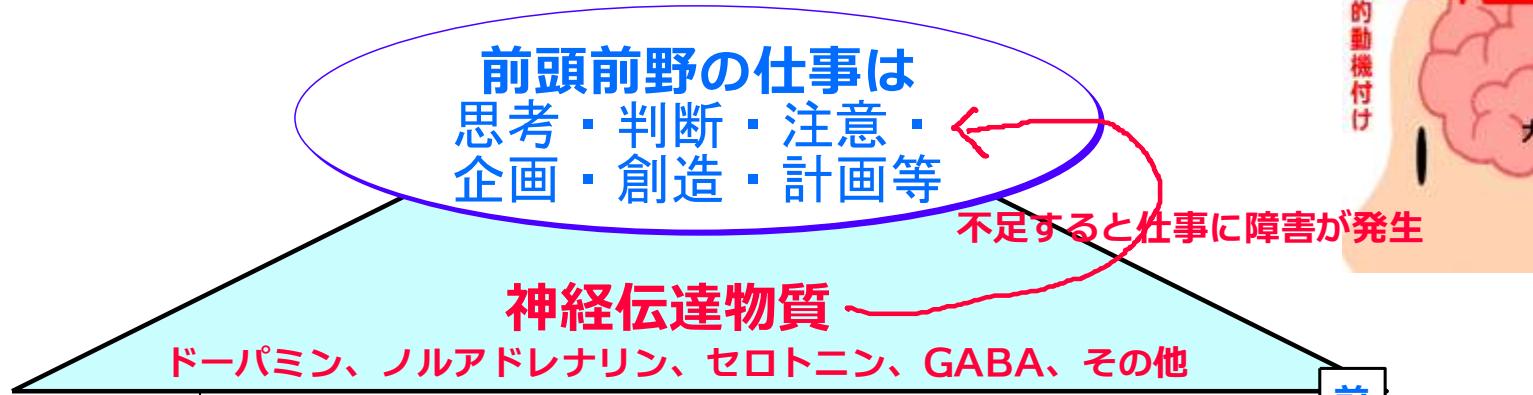


# 4. 芸術鑑賞時に脳が働く主な部位



# 前頭前野は芸術の知的作業を担当

前頭前野は**神経伝達物質**に支えられている



ドーパミンは大脳皮質  
の中では、前頭葉に最  
も多く分布している。

- ・ドーパミン：快感、多幸感、意欲・やる気を感じたりするホルモン
- ・ノルアドレナリン：激しいストレス等のときに情報伝達物質として放出される
- ・セロトニン：ドーパミンやノルアドレナリンを制御したり精神を安定にする
- ・GABA：ストレス緩和効果、血圧の抑制作用がある

ドーパミンの異常に  
に関係した病気には  
「パーキンソン病」  
や「統合失調症」が  
ある。

また

セロトニン、GABAは食品から  
取り入れることができます。

ドーパミンの過剰な分泌(濃度アップ)は、燃  
え尽き症候群やプレッシャーによる**犯罪行為**  
へと駆り立てるリスクがある。

## 前頭前野を鍛える方法

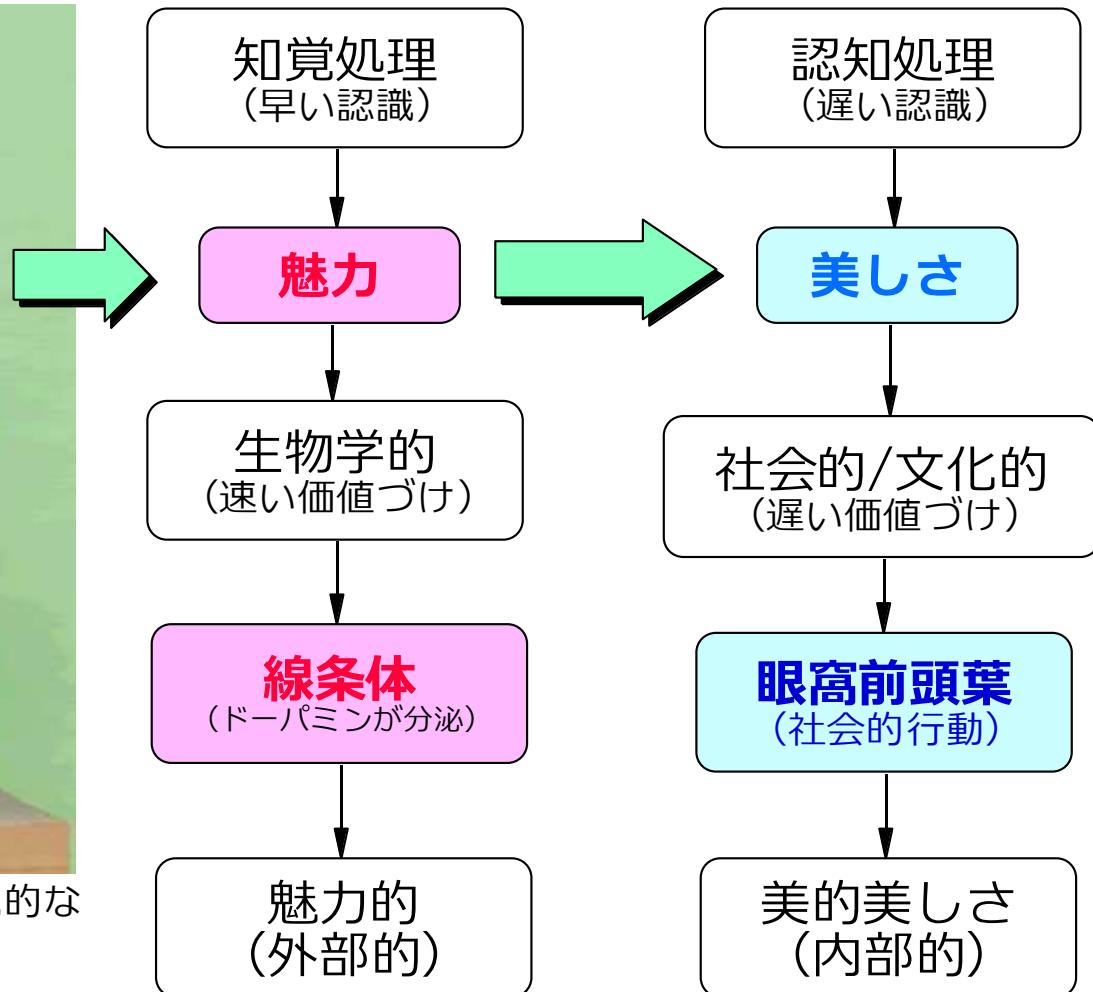
- ①新しいことに挑戦する
- ②日常生活に変化を取り入れる
- ③コミュニケーションを増やす
- ④物事を考える習慣
- ⑤集中力や注意力を高める
- ⑥複数同時遂行力の頻度アップ
- ⑦状況判断力
- ⑧アイディアを出すようにする

# 芸術作品の感じ方と脳の仕組み

例

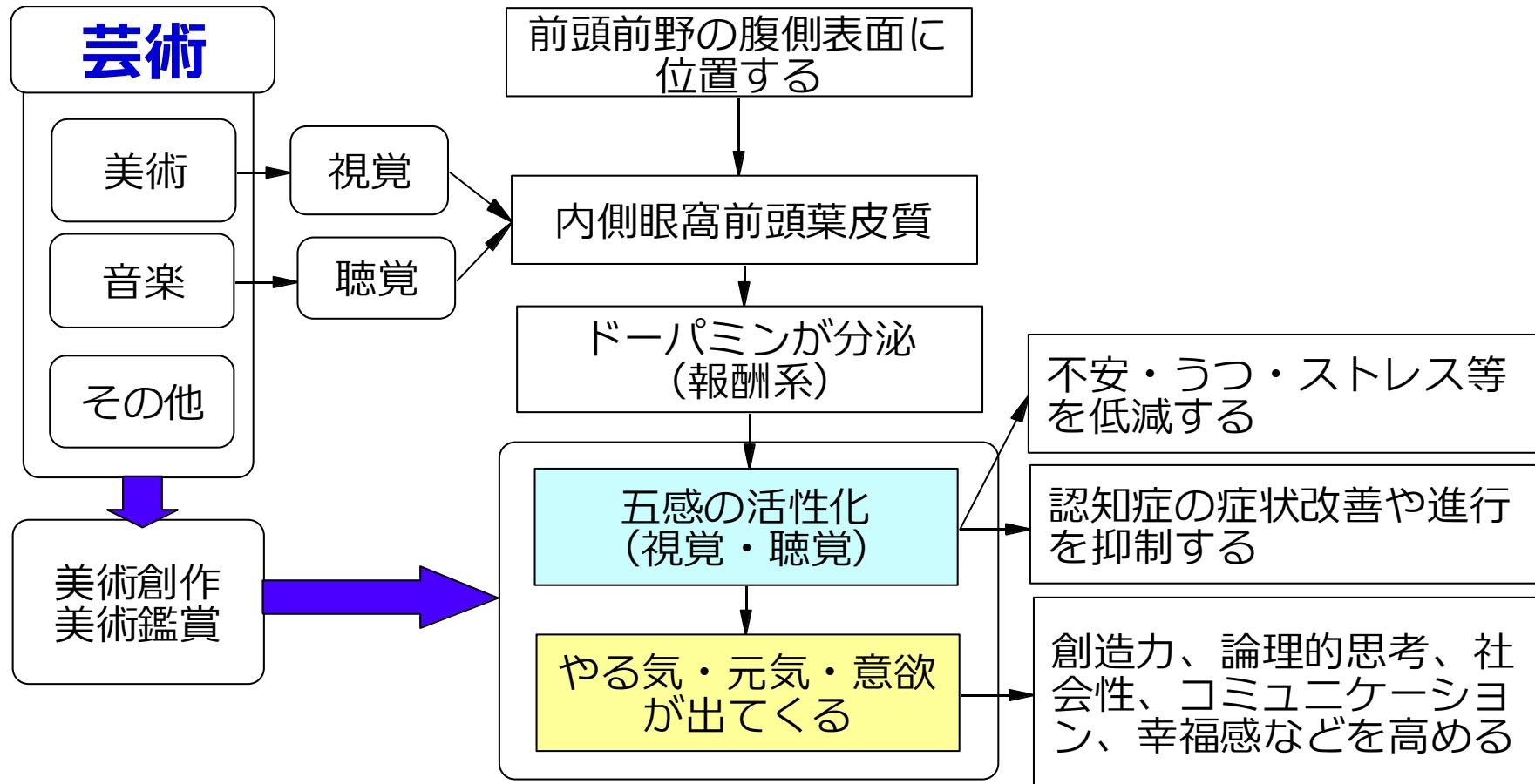


衣裳人形 江戸時代からの伝統的な衣裳を着せる人形



# 芸術に親しむことはヤル気(意欲)がでる

美術や音楽に親しむことは、不安・うつ・ストレス等を低減して認知症の進行を抑制し、創造力・社会性・コミュニケーション・幸福感を高めます。



# 5. 岩間緋幸の創作衣裳人形

## 伝統的衣裳人形

江戸時代から伝わる衣裳人形の伝統

- ・様々テーマ
- ・衣裳の美しさ
- ・目・鼻・口の人間らしさ
- ・優しさ
- ・力強さ
- ・確かな生命力

そして、命を吹き込まれた人形。

## 岩間緋幸のコンセプト

人形に想いを込める

- ・美しさ
- ・可憐さ
- ・表情の豊かさ
- ・素朴さ
- ・生命力
- ・出会い

人々に

芸術の機能のひとつは、人間の心  
を喜ばせることであり、人間を幸  
福にすることだと思う。

小畠秀明(脳科学と芸術 2008.11.3)

人形に込められた  
想いを伝える

**岩間作品の評価者** ペドロ・フランシスコ・ガルシア氏  
(AMSC国際美術評論家選考委員会・スペイン)  
「アートミッショント」麗人社発行 2025.3.31 29号そのまま

「偉大なアーチストの手にかかると工芸作品も優れた芸術となる。ここで紹介する岩間幸子は、正絹、木綿、絹糸、石州紙、針金、木などの伝統的な素材を使って衣装人形を制作している芸術家だ。

2点の提出作を観て、私は18世紀にナポリで作られたキリスト降誕の人形を思い出した。それは当時の厳しい生活を表したもので、社会にも影響を及ぼしている。岩間は同様のことを卓越した技術で現代に再現したのだ。

「1.愛のかけ橋」の人形に仮託されたのは、かなわぬ愛に焦がれる女性の思い。  
「2.恋みれん」の人形は遊女をかたどったものだが、くつろぐ姿が一種の威厳をもって表現されている。

どちらの作品も表情の見せ方や衣装の美しさ、洗練された姿勢、そして全体の優雅さが賞賛に値する。**感情を伝えること**を見事に成功させた岩間幸子は、時代を超越した芸術家といえるだろう。

1



2



# 6. 美術展への出展

2025年12月1日現在

大阪市中央公会堂(2025.6)



東京・芸術劇場(2025.12)



スペインのトレドで開かれた美術展に出展



押絵の「汐くみ」が好評でした。

2026.1.30～2.1 モナコ日本芸術祭  
会場 国立レニエ3世オーディトリアム



# 第30回記念オアシス2025 出展 関西万博協賛 大阪市中央公会堂(2025.6)



# スペイン・トレド 出展 (2025.9)



# 池袋・東京藝術劇場・出展(2025.12)



フランスとベルギーの現代アーティストと、日本の芸術家・文芸作家の作品が一堂に集結する展覧会「日本ヨーロッパ3カ国合同交流展」が、12月24日（木）から池袋の東京藝術劇場で開催されます。

「日本ヨーロッパ3カ国合同交流展」は、日本・フランス・ベルギーアーティストたちのご協力により、3カ国から集められた精銳作品たちが池袋の東京藝術劇場に集結いたします。

# 第16回「モナコ・日本芸術祭」出展

(2026年1月30日～2月1日)

## 押絵



2026年1月30日～2月1日  
国立レニエ3世オーディトリアム  
主権 モナコ公国政府観光会議局  
後援 モナコ公国政府文化庁/  
在モナコ日本国大使館  
運営 ユネスコ公認国際美術連盟モナコ  
公国委員会・(株)麗人社  
総合監修 アラン・バザール  
(フランス芸術家協会)

# 7. 創作衣裳人形・押絵・人形羽子板

## ●衣裳人形

1. 愛のかけはし 18.
2. 恋みれん 19.
3. 梅雨かみなり 20.
4. 緑雨 21.
5. 扇の舞 22.
6. 夢のかけはし 23.
7. 宴の後 24.
8. 初春 25.
9. うたた寝 26.
10. 冬の朝 27.
11. 舞子 28.
12. 浮名草 29.
13. しのび酒 30.
14. ないしょ
15. しのび音
16. 移り香
- 17.

## ●押絵・押絵羽子板

1. 汐くみ(押絵)
2. 火消・江戸の華(押絵)
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.
- 11.
- 12.
- 13.
- 14.
- 15.

# 創作衣裳人形

1. 愛のかけはし



2. 恋みれん



# 創作衣裳人形

## 3. 梅雨かみなり



## 4. 緑雨(りょくう)



# 創作衣裳人形

5. 扇の舞



6. 夢のかけはし



# 創作衣裳人形

7. 宴の後



8. 初春



# 創作衣裳人形

## 9. うたた寝



## 10. 冬の朝



# 創作衣裳人形

11. 舞子



12. 浮名草



# 創作衣裳人形

13. 忍び酒



14. ないしょ



# 創作衣裳人形

15. しのび音



16. 移り香



# 押絵

1. 汐くみ



2. 火消 江戸の華

